

10 病気にかかわる人の人権問題について

問16 あなたは病気にかかわる人に関する人権上の問題について、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

図16-1. 病気にかかわる人の人権問題について—全体・性別

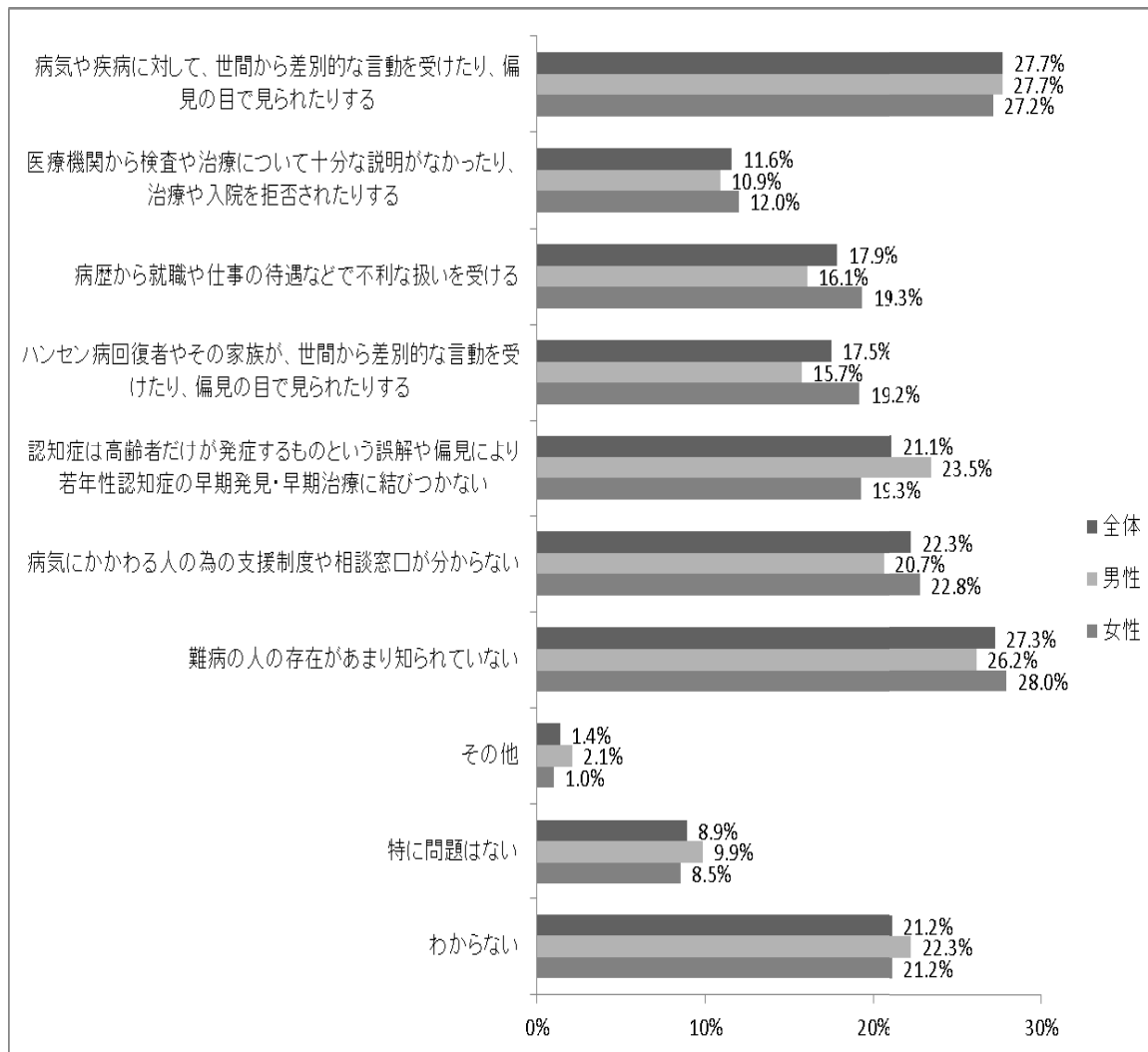


図16-1は、病気にかかわる人の人権上の問題についての意識をみたものである。

「病気や疾病に対して、世間から差別的な言動を受けたり、偏見の目で見られたりする」と回答した人が全体で27.7%と最も高く、次いで「難病の人の存在があまり知られていない」27.3%、「病気にかかわる人の為の支援制度や相談窓口が分からない」22.3%となっている。

性別では、「ハンセン病回復者やその家族が、世間から差別的な言動を受けたり、偏見の目で見られたりする」と回答した人は、男性15.7%、女性19.2%となっている。

また、「認知症は高齢者だけが発症するものという誤解や偏見により若年性認知症の早期発見・早期治療に結びつかない」と回答した人は、男性23.5%、女性19.3%となっている。

図 16-2. 病気にかかわる人の人権問題について一年齢別

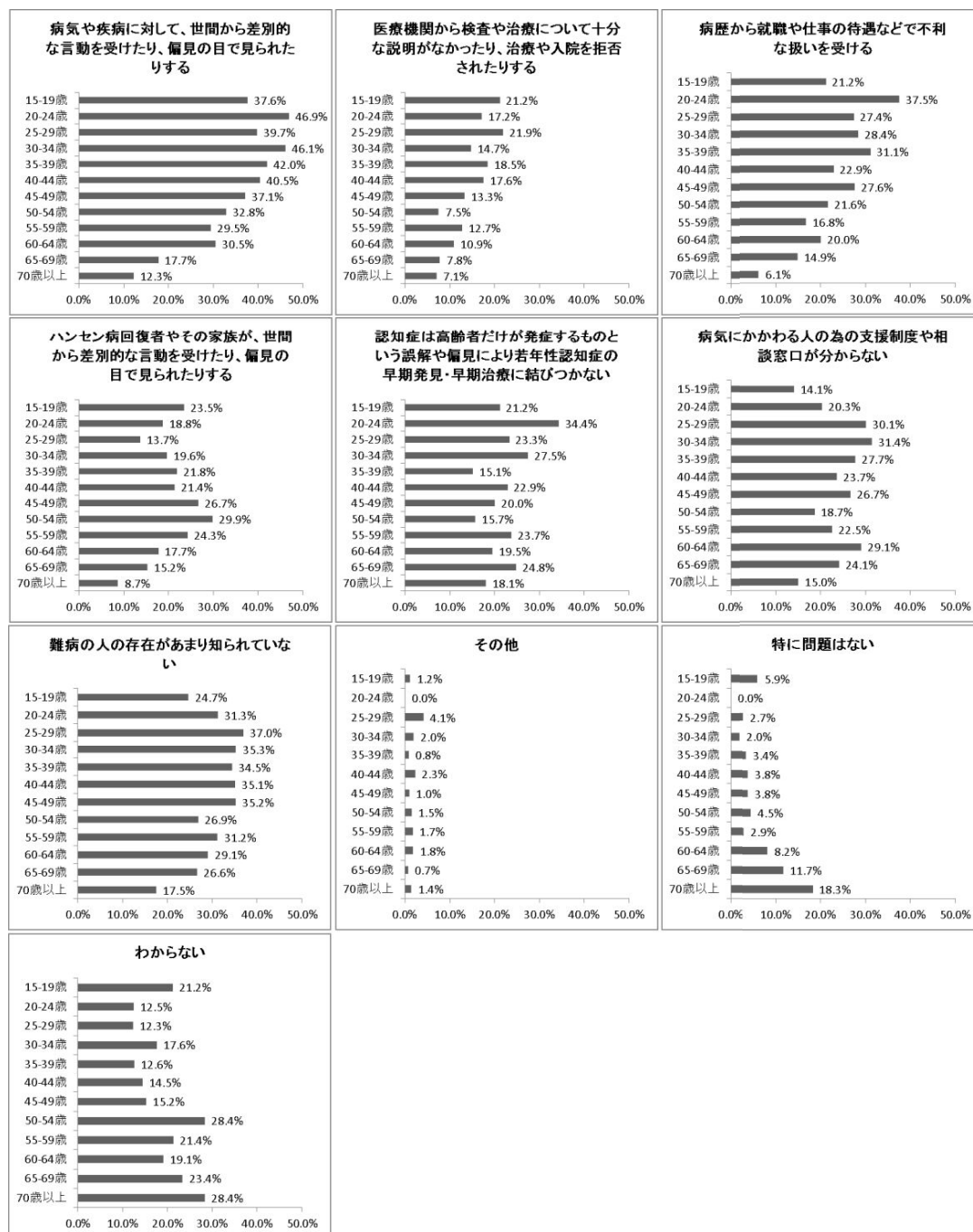


図 16-2 は、病気にかかわる人の人権上の問題についての意識を年齢別にみたものである。

「病気や疾病に対して、世間から差別的な言動を受けたり、偏見の目で見られたりする」と回答した人は、「20～24 歳」で 46.9%と最も高く、次いで「30～34 歳」46.1%、「35～39 歳」42.0%となっている。

また、「難病の人の存在があまり知られていない」と回答した人は、「25～29 歳」で 37.0%と最も高く、次いで「30～34 歳」35.3%、「45～49 歳」35.2%となっている。

「病歴から就職や仕事の待遇などで不利な扱いを受ける」と回答した人は、「20～24 歳」で 37.5%と最も高く、次いで「35～39 歳」31.1%、「30～34 歳」28.4%となっている。

11 刑を終えて出所した人の人権問題について

問17 あなたは刑を終えて出所した人に関する人権上の問題について、特に問題になっているのは、どのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

図17-1. 刑を終えて出所した人の人権問題について—全体・性別

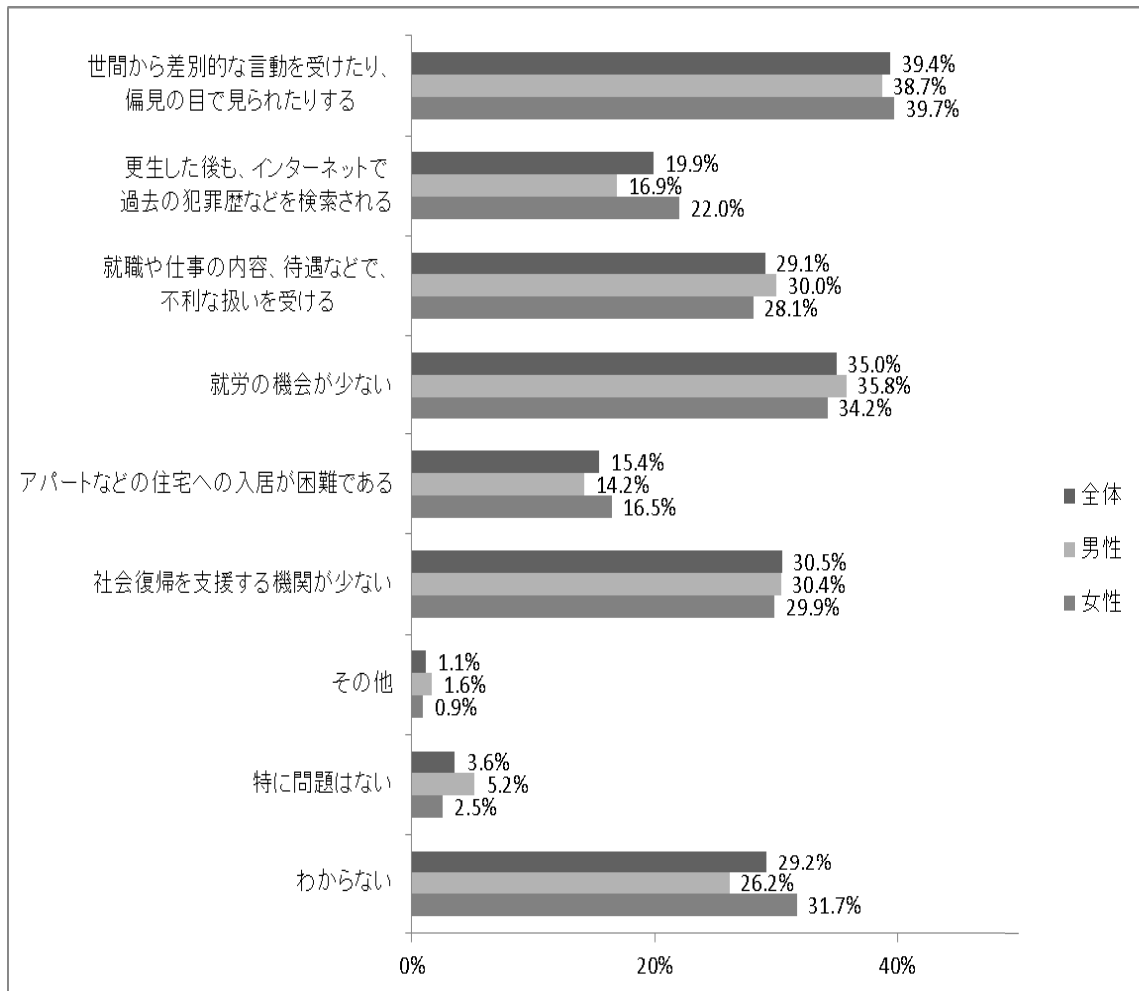


図17-1は、刑を終えて出所した人の人権上の問題についての意識をみたものである。

「世間から差別的な言動を受けたり、偏見の目で見られたりする」と回答した人が全体で39.4%と最も高く、次いで「就労の機会が少ない」35.0%、「社会復帰を支援する機関が少ない」30.5%となっている。

性別では、「更生した後も、インターネットで過去の犯罪歴などを検索される」と回答した人は、男性16.9%、女性22.0%となっている。

また、「世間から差別的な言動を受けたり、偏見の目で見られたりする」と回答した人は、男性38.7%、女性39.7%となっている。

「就労の機会が少ない」と回答した人は、男性35.8%、女性34.2%となっている。

図 17-2. 刑を終えて出所した人の人権問題について一年齢別

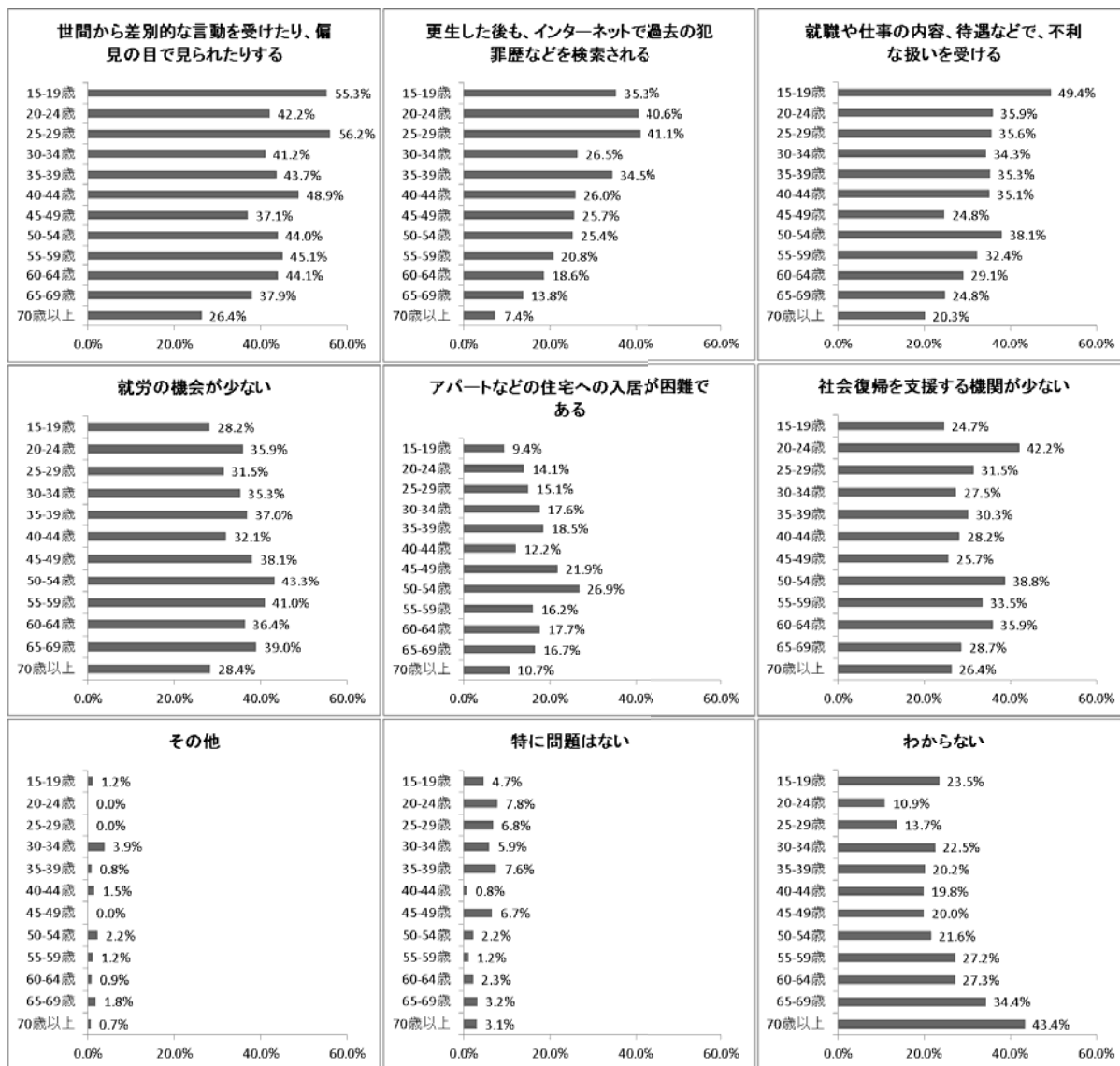


図 17-2 は、刑を終えて出所した人の人権上の問題についての意識を年齢別にみたものである。

「世間から差別的な言動を受けたり、偏見の目で見られたりする」と回答した人は、「25～29 歳」で 56.2%と最も高く、次いで「15～19 歳」55.3%、「40～44 歳」48.9%となっている。

また、「就労の機会が少ない」と回答した人は、「50～54 歳」で 43.3%と最も高く、次いで「55～59 歳」41.0%、「65～69 歳」39.0%となっている。

「社会復帰を支援する機関が少ない」と回答した人は、「20～24 歳」42.2%と最も高く、次いで「50～54 歳」38.8%、「60～64 歳」35.9%となっている。

12 アイヌの人々の人権問題について

問18 あなたはアイヌの人々に関する人権上の問題について、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

図18-1. アイヌの人々の人権問題について—全体・性別

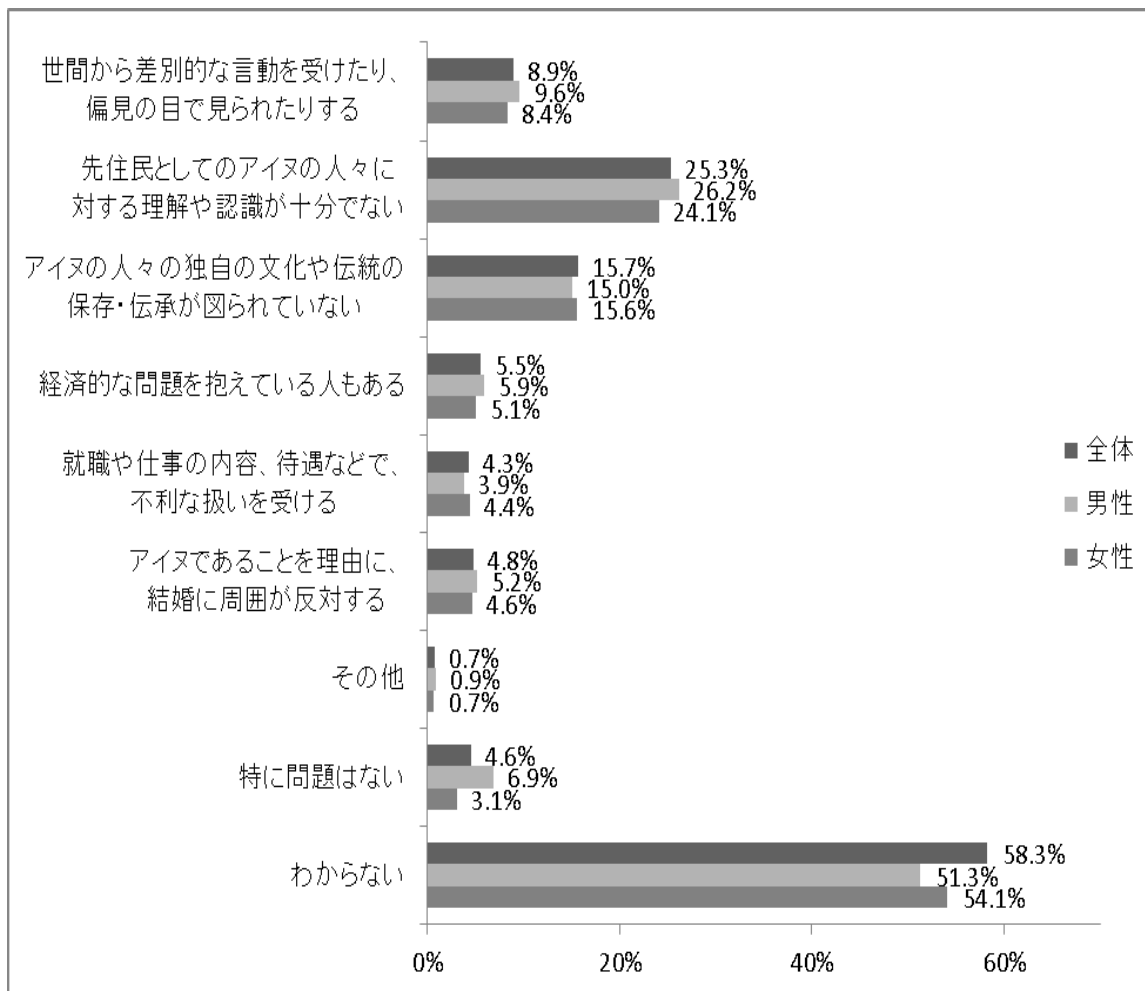


図18-1は、アイヌの人々に関する人権上の問題についての意識をみたものである。

「わからない」と回答した人が全体で58.3%と最も高く、次いで、「先住民としてのアイヌの人々に対する理解や認識が十分でない」25.3%、「アイヌの人々の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていない」15.7%となっている。

性別では、「わからない」と回答した人は、男性51.3%、女性54.1%となっている。

また、「先住民としてのアイヌの人々に対する理解や認識が十分でない」と回答した人は、男性26.2%、女性24.1%となっている。

「アイヌの人々の独自の文化や伝統の保存・伝承が図られていない」と回答した人は、男性15.0%、女性15.6%となっている。

図 18-2. アイヌの人々の人権問題について一年齢別

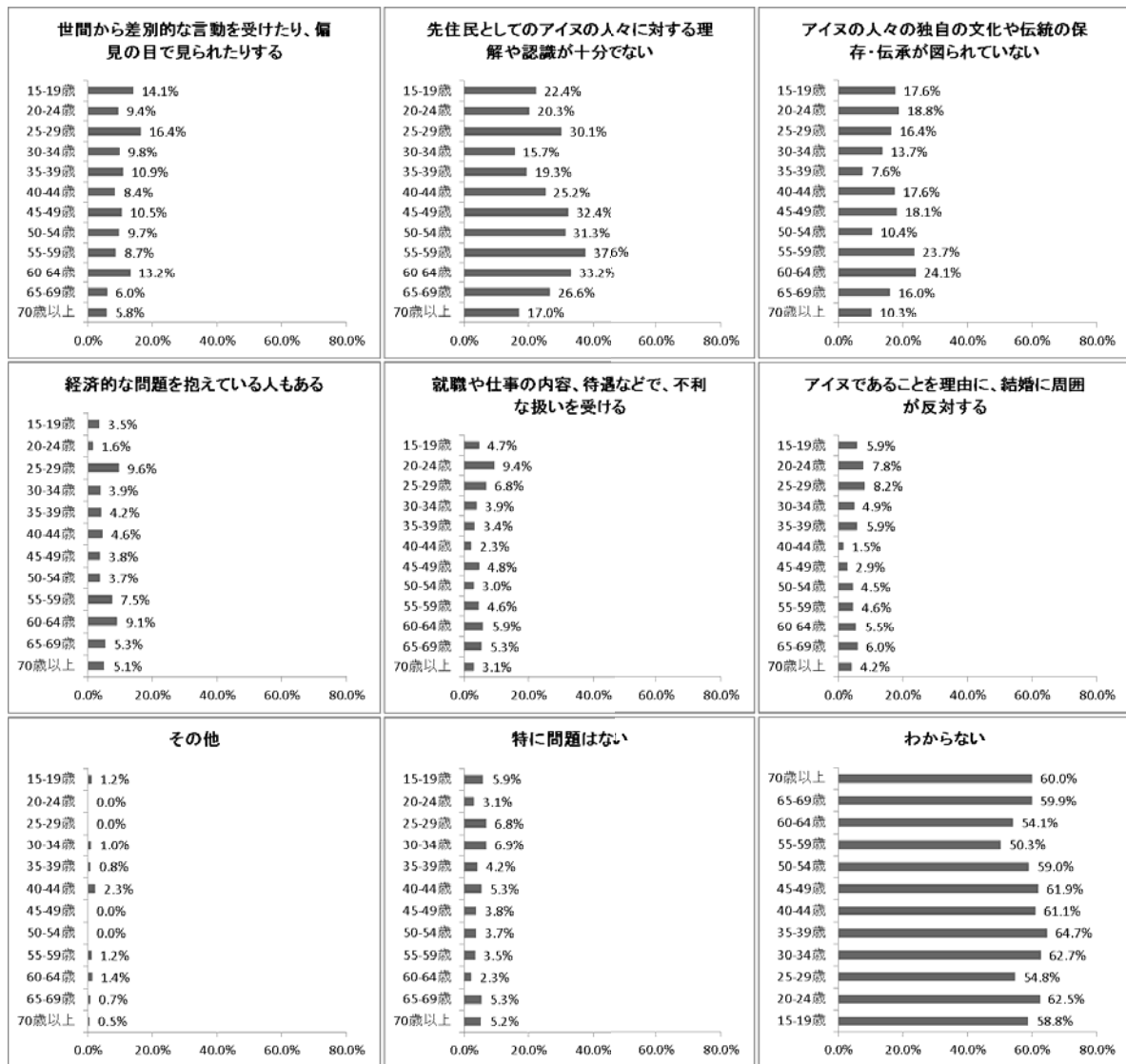


図 18-2 は、アイヌの人々に関する人権上の問題についての意識を年齢別にみたものである。

「わからない」と回答した人は、すべての年代で 50% を超えている。

また、「先住民としてのアイヌの人々に対する理解や認識が十分でない」と回答している人は、「55～59 歳」37.6% と最も高く、次いで「60～64 歳」33.2%、「45～49 歳」32.4% となっている。